

時間割コード	G2B40906	開講年度	2026				
授業題目	日本国憲法				担当教員	小池 洋平	
英文授業名	Japanese Constitutional Law						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育 1 3 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				憲法が制定された目的や基本的人権に関する正確な基礎知識を習得し、それらを他者に対して説明できるようになる。 憲法が保障する基本的人権や基本原理を出発点として、社会で実際に生じている問題に対して、妥当な解決策を主体的に探究できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (日本理解)						
(4)授業の概要	この授業では日本国憲法に関する基礎知識・理論・判例を初学者向けに分かりやすく解説しながら，身の回りにある憲法問題についてみなさんと一緒に考えていきます。 まず，憲法を学ぶ意義を皆さんと共有した上で，憲法が制定された背景やその目的を歴史的な視点から説明します。そして，憲法が保障する基本的人権や統治の仕組みを具体的に解説しながら，実際に生じている憲法問題を解決するための糸口を探究します。 2026年度は「対面回」と「オンライン回」が混在します。特に「（４）授業計画」と「（８）履修上の注意」欄をご確認ください。						
(5)授業のキーワード	人権，憲法，憲法史，憲法訴訟，課題発見・解決，論理的思考						
(6)授業計画	第1回 イントロダクション：なぜ憲法を学ぶのか？【対面】 第2回 憲法の歴史（１）憲法制定前夜の物語【オンライン】 第3回 憲法の歴史（２）近代における憲法制定の物語【オンライン】 第4回 憲法の歴史（３）日本における憲法制定の物語【対面】 第5回 基本的人権とは何か：誰の，誰に対する，どんな権利か？【オンライン】 第6回 基本的人権を保障する仕組み：人権保障のための2つのルート【対面】 第7回 精神的自由権（１）思想・良心の自由：国家は子どもに「道徳」を教えるでもいい？【対面】 第8回 精神的自由権（２）信教の自由：なぜ「信教の自由」か？【対面】 第9回 精神的自由権（３）政教分離原則：宗教的中立性が信教の自由を妨げる？【対面】 第10回 精神的自由権（４）表現の自由：人を差別する発言はダメ？【対面】 第11回 社会権（１）経済的自由権と社会権：社会権ってどんな権利？【対面】 第12回 社会権（２）生存権：生存権を保障する意義【対面】 第13回 社会権（３）教育を受ける権利：どうして学校に行かなきゃいけないの？【対面】 第14回 平等権：人を平等に扱うって何だろう？【オンライン】 第15回 憲法改正：憲法を「改正する」ってどういうこと？【対面】 第16回 期末試験／授業アンケート【対面】						
(7)成績評価の方法	平常点（45点），期末試験（55点）総合して成績を評価する。 平常点の評価方法 授業中に憲法問題を提示するので，それに対する自分の考えをリアクションペーパー，もしくは，ショート・ディスカッションの形で答えてもらう。単に出席しているだけでは加点しないので注意すること。 期末試験の評価方法 授業で得た知識の定着を測るための選択肢問題と，得た知識の応用力を測るための論述式問題の両方を出題する。						
(8)成績評価の基準	下記の基準に従い，合計点が90点以上で「卓越している」，80から89点で「かなり上にある」，70から79点で「やや上にある」，60から69点で「その水準にある」と評価する。 平常点の評価基準 授業中に提示された憲法問題について，自らの考えを主体的に組み立て，それを他者に提示できている（各回3点×15回，45点満点）。 期末試験の評価基準 達成目標 と への到達度を測るため，以下の基準で評価する。 ・憲法に関する正確な知識を身につけることができる（選択肢問題 20点満点）。 ・憲法に関する正確な知識を憲法問題の解決に応用することができる（論述式問題 35点満点）。						
(9)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間の時間外学習が必要となります。						

(9)事前事後学習の内容	事前学習 ・教科書の指定箇所を熟読し、分からなかった部分に印を付けておく（毎週1時間）。 事後学習 ・レジュメや教科書、ノートを見直ししながら、正確な知識が身についているかを確認する（毎週1時間）。 ・憲法に関連する問題をメディアでチェックする（毎日1時間）。
(10)履修上の注意	日本国憲法を学ぶことは、条文をただ単に覚えることではありません。憲法に書かれていることをどのように実現するのか。これが大切です。レシピを正確に覚えていたとしても、美味しい料理を実際に行うことができないならば一人前の料理人にならないのと似ているかもしれません。 その意味では、教室での授業は、勉強のほんの一部でしかありません（家庭科の料理実習みたいなもの）。ぜひとも、授業時間外での学習も意識して受講してください。 ■ 2026年度の注意事項 ・この講義は【対面回】と【オンライン回】が混在します。どの回が対面／オンラインかは、上の授業計画をご確認ください。 ・【対面回】については、シラバスに掲載された講義室にて、通常の講義を行います。 ・【オンライン回】については、eALPSに動画を掲載するので、そちらを視聴してください。 ・ハイフレックス型（対面での講義をオンラインで配信し、学生が受講方法を自由に選べる）ではないので、ご注意ください。
(11)質問、相談への対応	・質問がある場合は、eALPSに設置された「質問コーナー」をご活用ください。受講生全体で共有すべき質問の場合は、次の授業で回答します。 ・授業前後に教室で質問を受け付けます。気軽に声をかけてください。 ・その他の時間に質問や相談をしたい場合は、メールにて受け付けます。メールアドレスはeALPSに掲載します。
(12)授業への出席	この授業はすべての回に出席することを前提とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「信州大学における授業の出席に関する要綱」第4が定める「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に記載されている方法により補充を受けるための申請を行ってください。 その上で、eALPSに掲載されている連絡先にメールを送り、補充の指示を受けてください。
【教科書】	西原博史＝斎藤一久編、教職課程のための憲法入門、第3版、9784335359798、弘文堂、2024年、2420円。 岡田順太＝淡路智典＝今井健太郎、判例キーポイント憲法、成文堂、2020年、1430円。
【参考書】	青井美帆・山本龍彦、憲法 人権、第2版、4641151326、有斐閣、2024年、2420円。 青井美帆・山本龍彦、憲法 統治、4641150966、有斐閣、2022年、2090円。 芦部信喜（高橋和之補訂）、憲法、第8版、4000616072、岩波書店、2023年、3740円。 大林啓吾編、世界の憲法本、4589044226、法律文化社、2025年、6490円。 木村草太、憲法、4130323997、東京大学出版会、2024年、2750円。 小島慎司、憲法、9784883844098、新世社、2025年、3410円。 斎藤一久・堀口悟郎編、図録 日本国憲法、第3版、9784335360398、弘文堂、2026年、2530円。 城野一憲、憲法から始める法学入門、9784623097937、ミネルヴァ書房、2024年、2860円。 渋谷秀樹・赤坂正浩、憲法1 人権、第9版、4641222444、有斐閣、2025年、2420円。 渋谷秀樹・赤坂正浩、憲法2 統治、第9版、4641222452、有斐閣、2025年、2420円。 初宿正典・辻村みよ子編、新解説世界憲法集、第6版、4385313121、三省堂、2025年、3080円。 神野潔ほか、教養憲法、9784335360114、弘文堂、2025年、3080円。 高橋和之、立憲主義と日本国憲法、第6版、4641228701、有斐閣、3850円。 辻村みよ子、憲法、第8版、4535529035、日本評論社、2025年、4400円。 長谷部恭男ほか編、憲法判例百選、第8版、4641213445、有斐閣、2025年、2750円。 長谷部恭男ほか編、憲法判例百選、第8版、4641213453、有斐閣、2025年、2750円。 樋口陽一、憲法、第5版、4326451440、勁草書房、2025年、3300円。 渡辺康行ほか、憲法 総論・統治、第2版、9784535528260、日本評論社、2025年、3630円。